

## 研究結果

「条件不利地域」とは、自然的、地理的条件が悪く、一般に経済的に立ち遅れた地域である。農村工業の発展は弱く、農林業を中心とする産業構造であった日本島根県の吉賀町と邑南町は、自然的条件も地理的条件も不利な農山村であるが、地域の住民自らが、行政の協力・支援を得ながら自分の力で地域の発展に積極的に取り組んでいる。地元産の農林産物を加工・販売して地域経済の振興を行いながら、美しい自然も守ろうとしていることが本調査研究によって強く感じた。

一方、中国西部に位置する寧夏回族自治区の南部にある山村地域は農牧業中心と言いながら、瘠せた土地、粗放的農業経営方式、労働生産性、土地生産性が低く、農民の所得も少ない。そして絶えざる人口増加、土地と牧草地の掠奪的な利用によって、砂嵐、表土流失と砂漠化などの環境問題が深刻である。農業・農村が本来持っている多面的機能が低下している。問題を解決するために、中国政府補助による「退耕還林」と「生態移民」が実施されている。政府の資金援助があれば、かなり効果があることが現地調査で分かった。

しかし、問題の根本的な解決はやはり政府援助が中断しても農村の存続と農業の発展も生態環境の改善もできるようなシステムを構築することである。本研究は「寧夏の農村部では、地域住民が地域づくりの主体になって、地域の資源と技術を活用して地域発展を進める方法を考える。即ち地域を自立させる政策の方向性が明確する」ことが明らかにした。そのため更に次のような具体的な対策を提案した。「植草→牧畜業の振興→農林牧畜業の複合経営」という農業構造に転換させること；②集約的な農業経営を実行し、農業生産物の増量と農家収入の増加をさせること；③過剰農業労働力を安定的な非農業部門へ移転させること。経済社会発展と環境保護が両立した「持続可能な農業発展」を実現するよう努力する。

### 研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- (1) 「西部大開発と環境問題：砂漠化をどう防ぐ再生させるか-寧夏回族自治区の苦悶」・胡霞・札幌学院大学第2回経済学部講演会「西部大開発と環境問題：砂漠化をどう防ぐ再生させるか」・2009-1-16・札幌学院大学D301教室(D館3階)
- (2) 「中国農業成長段階の変化と発展方向」・胡霞・京都大学経済学研究科上海センター学術セミナー「中国農業：持続的発展への諸課題」・2009-2-16・京都大学経済学研究科2F大会議室
- (3) 「Ecological Environment Treatment and Adjustment of Agricultural Structure」・胡霞・第二回国際防治荒漠化科学技術大会・2009-8-14-16・中国内モンゴル興安盟ウランホト市

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「日本農業規模化経営対我が国の借鑑」・胡霞・中国教育テレビ放送・2009-4

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

胡霞「Japan's Approaches and Policies to Tackle with Regional Disparity」・王洛林主編「日本経済青書(2009)」・(中国)社会科学文献出版社・2009年6月